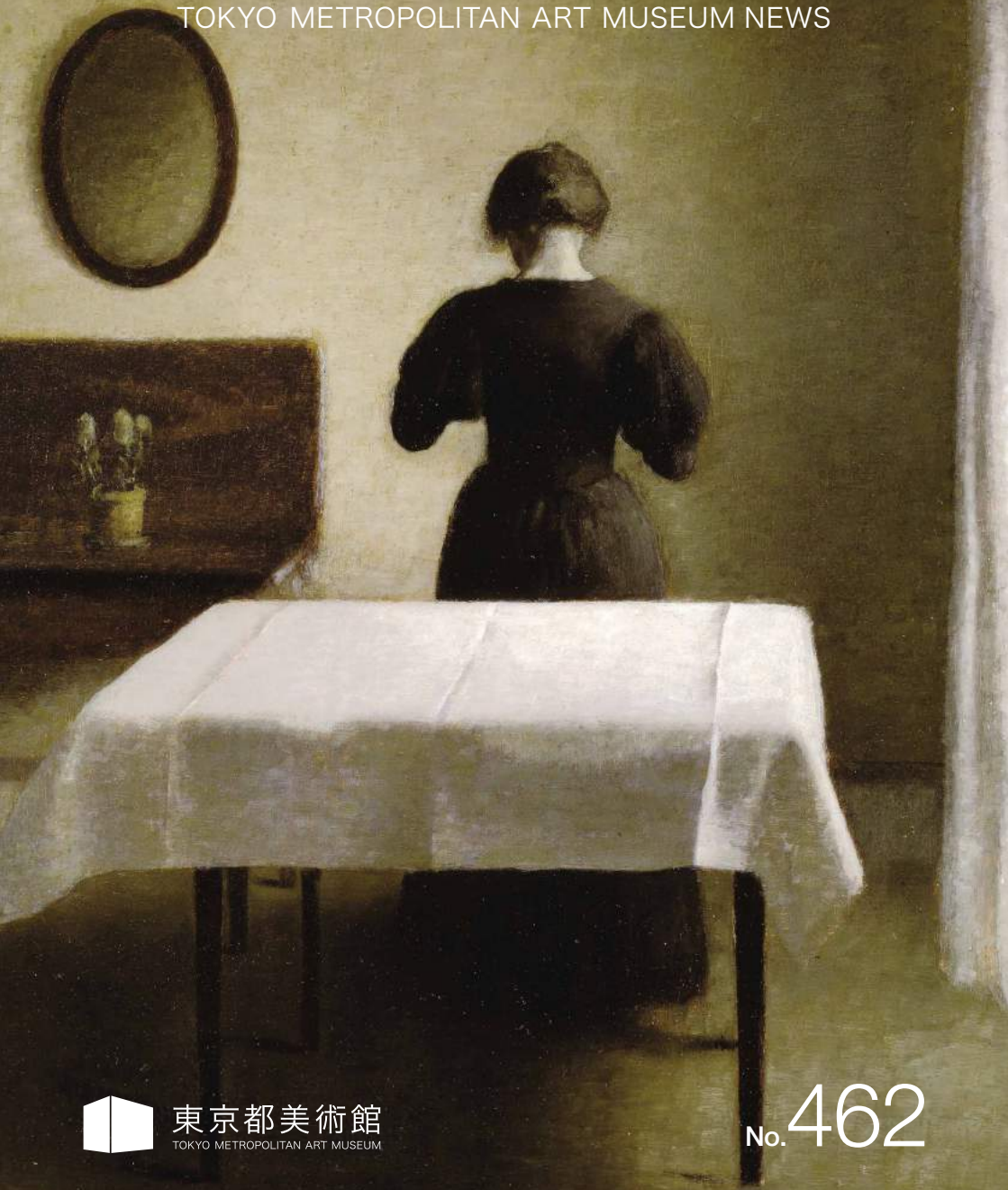


東京都美術館 ニュース

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM NEWS



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

No. 462

人と作品、人と人、人と場所をつなぐ

Art Communication

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなアート・コミュニケーション・プログラムを展開しています。今回は、子どもたちがリラックスして美術館を楽しめる特別な日、「キッズ+U18デー」の活動をご紹介します。

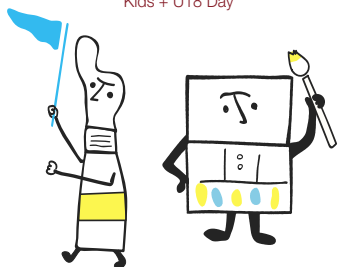
The Museum offers art communication programs designed to take visitors beyond simple viewing to a deeper "experience" of the artworks. This time, we look at "Kids + U18 Day," a special day when children can enjoy the museum in a relaxing way.

子どものための特別な日!

A special day for children!

「キッズ+U18デー」

"Kids + U18 Day"



2019年8月13日、「キッズ+U18デー」を「伊庭靖子展 まなざしのあわい」で開催しました。今年は約1500人の親子が来場し、各種プログラムを楽しみました。

On August 13, 2019, "Kids + U18 Day" was held at the "Yasuko Iba, a Way of Seeing" exhibition. This year, some 1500 parents and children attended the event and enjoyed the various programs.

「キッズ+U18デー」とは?

What is "Kids+ U18" Day?

子どもたちにリラックスして鑑賞会を楽しんでもらうために、休室日の展示室を特別にオープンして、高校3年生までの子どもとその保護者を迎える「子どものための特別な日」です。

A "special day for children" welcoming children and teens of high-school age and younger and their guardians. To enable children to enjoy the exhibition in a relaxing way, we open the galleries on a day when the exhibition is closed.

夏休みの自由研究にもぴったりの、 展覧会をじっくり楽しむ 3つの参加型プログラム!

Three participatory programs for enjoying the exhibition, perfect for free study during summer vacation!

今回の「キッズ+U18デー」では、作品をじっくり観察し、作品に親しむことを狙いとしたり、3つの参加型プログラム「さわって、よくみる指令書ツアー」「絵とことばで楽しむキュレーターズ・カード」「君もアーティスト! 色えんぴつで描こう!」を開催しました。

「さわって、よくみる指令書ツアー」は、触れるアイテムを使いながらアート・コミュニケータと一緒に1つの作品を展示室で鑑賞し、「指令書」にある作品を探して自分の目で観察す

どんなことばを選んだのかな?



「絵とことばで楽しむキュレーターズ・カード」

Curator's Note: Making Your Own Art Card with Word Stickers



この作品の中に入ったら
どんな光がみえそう?

作品にぴったりの言葉を選び、次に作品をみる人に向けて、自分が見つけた作品の魅力が伝わるような「指令」を作るプログラムです。作品シールを1つ選んでキュレーターズ・カードに貼り、「ことばシート」にある「やわらかな」「まぶしい」「しんとした」

といった質感や光、空間を表現する言葉から、作品に合う3つの言葉を選び、その中の1つを使った指令を考えます。完成したカードは撮影後モニターに映し出され、参加者同士が見合う様子も見られました。

「君もアーティスト! 色えんぴつで描こう!」は、作家もモチーフにしているような日常的な物をじっくりと観察し、そこにあたる光や周りの空間にも注目しながら色えんぴつでスケッチするプログラムです。3歳から高校生まで幅広い子どもたちが熱心に描いていました。

当日は、とびラー、任期満了したとびラー、奉仕活動の高校生など多様な人々が子どもたちを迎え、その活動をサポートしました。

「さわって、よくみる指令書ツアー」

Exploring the Exhibition with an Inspiration Card



指令書を手をしている様子

るプログラムです。一日を通して全14回開催しました。触れるアイテムは、手のひらサイズの陶器や布などで、描かれている物の質感を想像するための補助ツールです。「指令書」には「小さくなって、置かれている物の周りぐるっと歩くのを想像してみよう」といった、モチーフやその周りの光や空間に注目する「指令」が書いてあり、一人で作品を鑑賞するときのポイントになります。グループ鑑賞した後も子どもたちはワクワクした様子で展示室をめぐり、「指令」を実行していました。

「絵とことばで楽しむキュレーターズ・カード」は、作品をじっくり観察・鑑賞し、お気に入りの



「君もアーティスト! 色えんぴつで描こう!」

Still Life Workshop: Drawing with Colored Pencils!

谷文晁(宝暦13(1763)年-天保11(1841)年)は下谷根岸生まれの江戸時代後期の画家。昭和6(1931)年12月14日(命日)に東京府美術館の南東の隅(現在の東京都美術館の北東)にて「文晁碑」の除幕式が挙行され、同日より12月20日まで、東京府美術館にて「建碑記念 谷文晁遺作展覧會」(主催:七清會同人)が開催された。碑文は徳川家達による揮毫、銅板には当時東京美術学校長であった正木直彦による選文が陰刻されていたが、現在銅板は見られない。

(東京都美術館 広報担当係長 山崎真理子)



文晁碑

Buncho Monument

Tani Buncho (1763 - 1841) was a painter of the late Edo period, born near Ueno (Shitaya, Negishi). On December 14, 1931—the anniversary of his death—a stone monument dedicated to Buncho was unveiled in the southeast corner of the Tokyo Prefectural Museum of Art (the present-day Tokyo Metropolitan Museum of Art's northeast corner). On that day, a week-long posthumous exhibition of his work (Kenpi-kinen Tani Buncho

isaku) was also launched at the museum (organizer: coterie Shichi-seikai-dojin). The calligraphy engraved on the stone was written by Tokugawa Iyasato, heir to the last Tokugawa shogun. The stone originally featured a copper plate with a writing by Masaki Naohiko, president of Tokyo Fine Arts School (now Tokyo University of the Arts), which has since been lost.

(YAMAZAKI Mariko, Chief of Public Relations)

東京都美術館 ニュース No.462

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM NEWS

発行日 2019年12月31日
発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
企画・編集 東京都美術館 広報担当
デザイン 株式会社ファントムグラフィックス
翻訳 アムスタッツ コミュニケーションズ
印刷・製本 株式会社ルナテック

©Tokyo Metropolitan Art Museum

東京都美術館
〒110-0007
東京都台東区上野公園8-36
Tel 03-3823-6921
Fax 03-3823-6920

公式サイト
<https://www.tobikan.jp>

Twitter
tobikan_jp
tobikan_en

Facebook
TokyoMetropolitanArtMuseum

表紙の
写真

ヴィルヘルム・ハマースホイ《室内》1898年 スウェーデン国立美術館蔵
Vilhelm Hammershoi, *Interior*, 1898
Nationalmuseum, Stockholm / Photo: Nationalmuseum